

		2015	2020	2025	2030	2035	2040
目標		交通事故死者数ゼロへの取り組み					
		交通事故死者数 3000人以下					
課題		交通事故死傷者数70万人以下					
		少子・高齢化社会への対応 乗員などの多様性への対応 事故調査・分析の高度化 新たな動力源を有する小型車(HEV, EV, FCEVなど)の安全性確保 歩行者・自転車・二輪車・超小型モビリティの安全					
衝突安全	衝突条件の緩和	被害軽減ブレーキ 拡大 普及					
	衝突形態/条件の拡張	コンパチビリティ対応・歩行者保護(ポップアップフード)・高速衝突対応					
	乗員保護	多機能安全装置, 多機能ベルト, 多機能拘束装置, エアベルト 拡大・普及					
	歩行者保護	ポップアップフード・歩行者保護エアバッグ 拡大・普及					
	被害軽減対策の適用拡大	傷害メカニズム解明・開発					
予防安全	自動ブレーキ	受容性の確保 実用化 普及					
	車線維持制御	普及					
	ドライバ個人特性	ドライバ状態検知技術の開発 個人適合支援の実用化					
	運転の質向上	運転意識と運転行動の関連, 運転の質向上支援技術の開発 実用化 普及					
	歩行者検知	実用化 普及					
	車車間・路車間通信	システム検討・信頼性向上 実用化 普及					
統合安全	衝突前・後の人間動特性 神経伝達と筋応答	検知方法/システム開発					
	生理学・生化学・病理学状態と心身状態	検知方法/システム開発					
	ブリクラッシュセーフ	普及					
	ティ・被害軽減ブレーキ	速度領域の拡大					
	事故通報システム・情報通信システム	普及 高度化					
	開発						
	安全向上に関する新しい動機付け・教育法・訓練法の確立	実用化 普及					
	教育・訓練効果の解明	安全向上に資する教育法・訓練法の確立					
事故調査・分析	ドライブレコーダ/EDRデータの活用	体制整備 活用					
	ヒヤリハット解析	ドライバエラーの解明 解析にもとづく対策					
	事故解析/事故統計解析	ドライバディストラクション・ハザードの定量化 定量化にもとづく対策					
		安全支援システムへの応用・展開					
	事故再現の高度化	人体モデル開発 実用化 普及					
	傷害予測手法の開発	実用化 普及					
	傷害メカニズム	重症度アルゴリズム開発 実用化 普及					
		救命救急システムへのフィードバック					